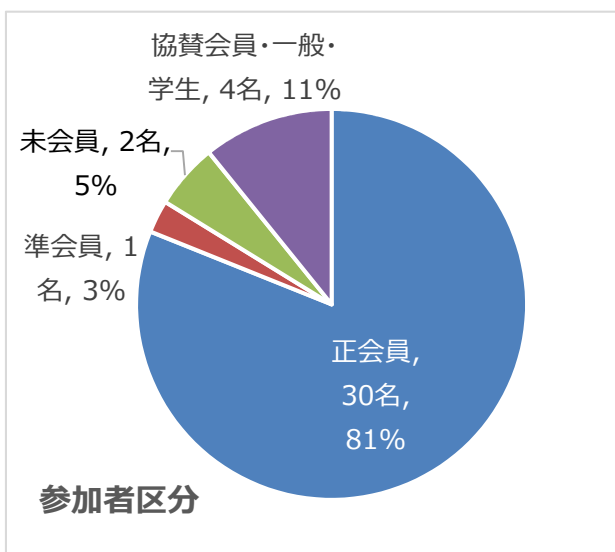
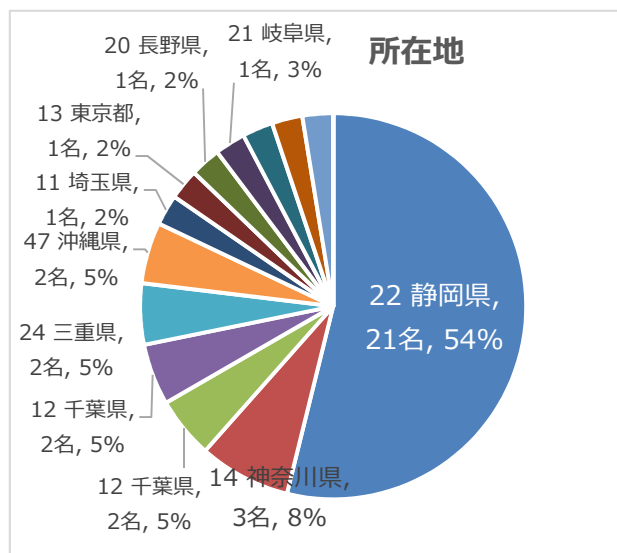
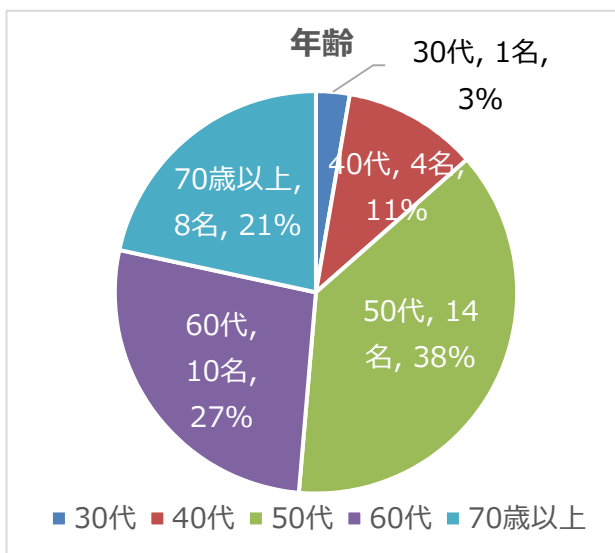


2022年度 第3回講演会 参加者アンケート集計結果

アンケート集計条件 (講演会実施日：2022年10月22日)

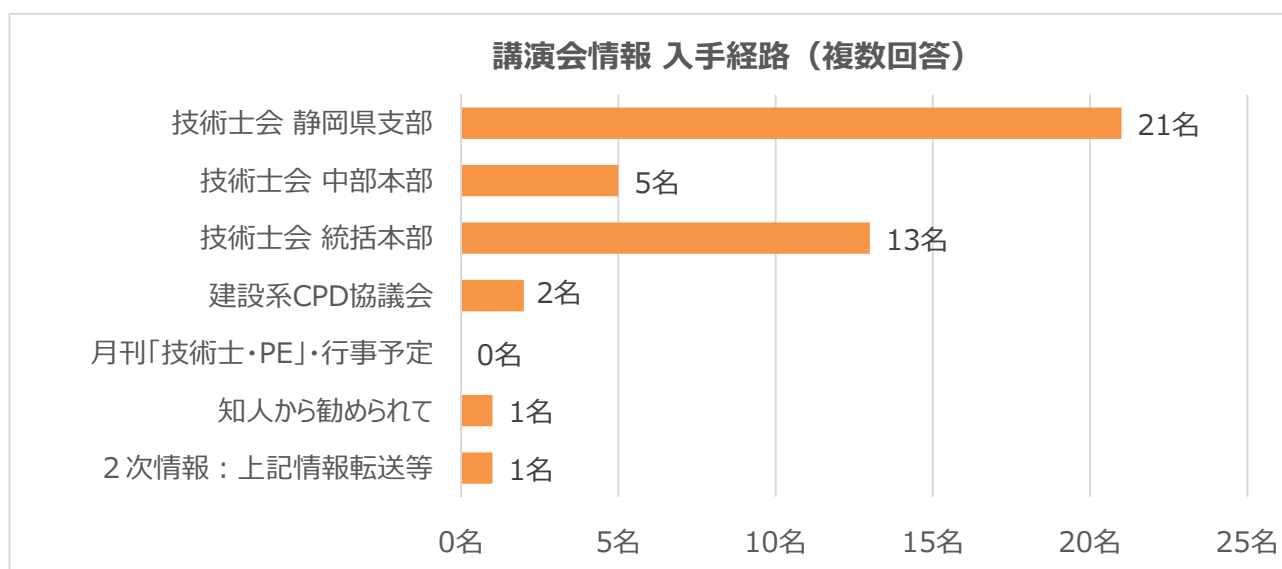
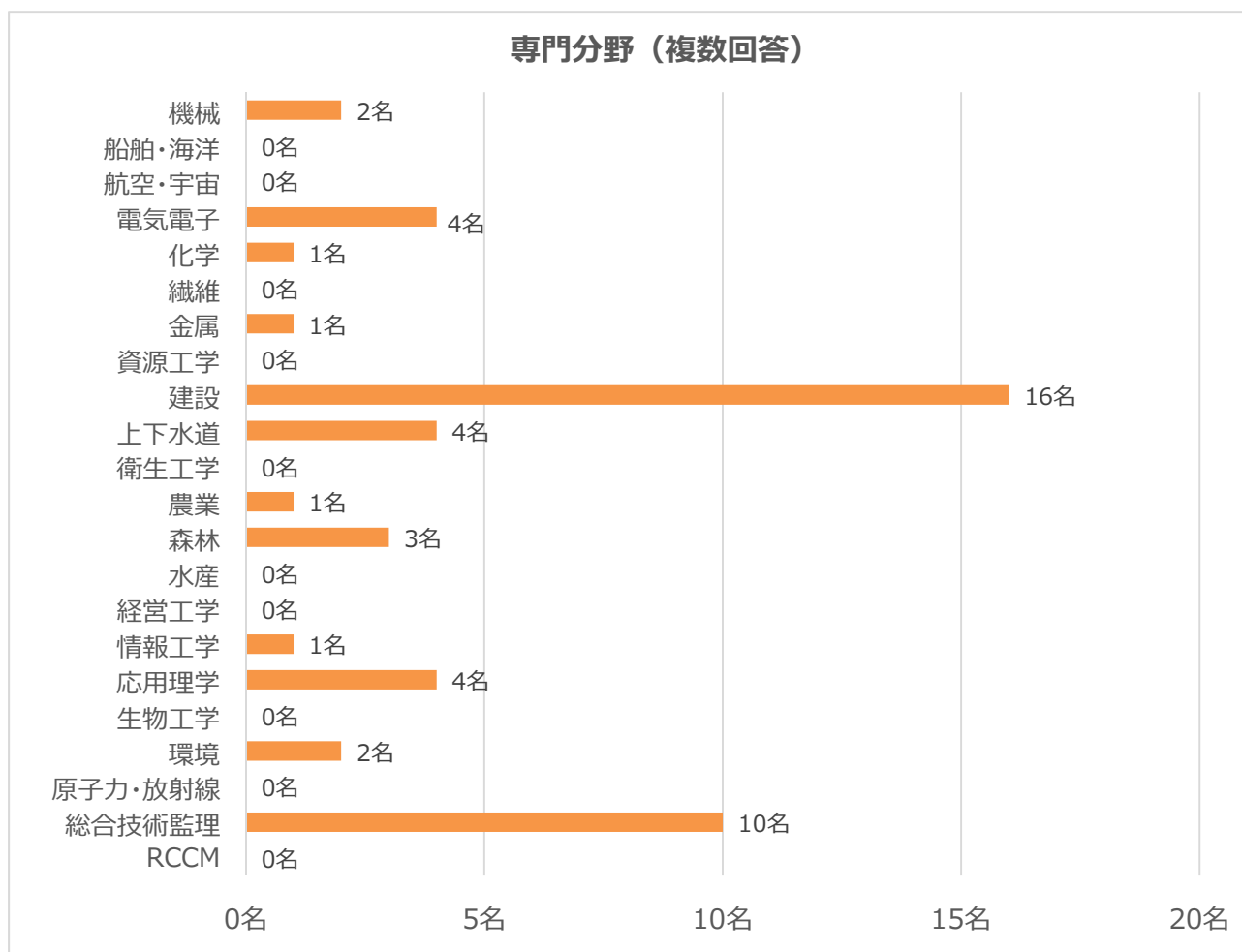
アンケート回収方法：	Google フォームを活用した Web 経由による回収
アンケート回収期間：	2022年10月22日から10月29日 (7日間)
アンケート回収件数：	37名 (重複回答を除く)
アンケート回収率：	84% (講演会参加者44名)

講演会 参加者情報



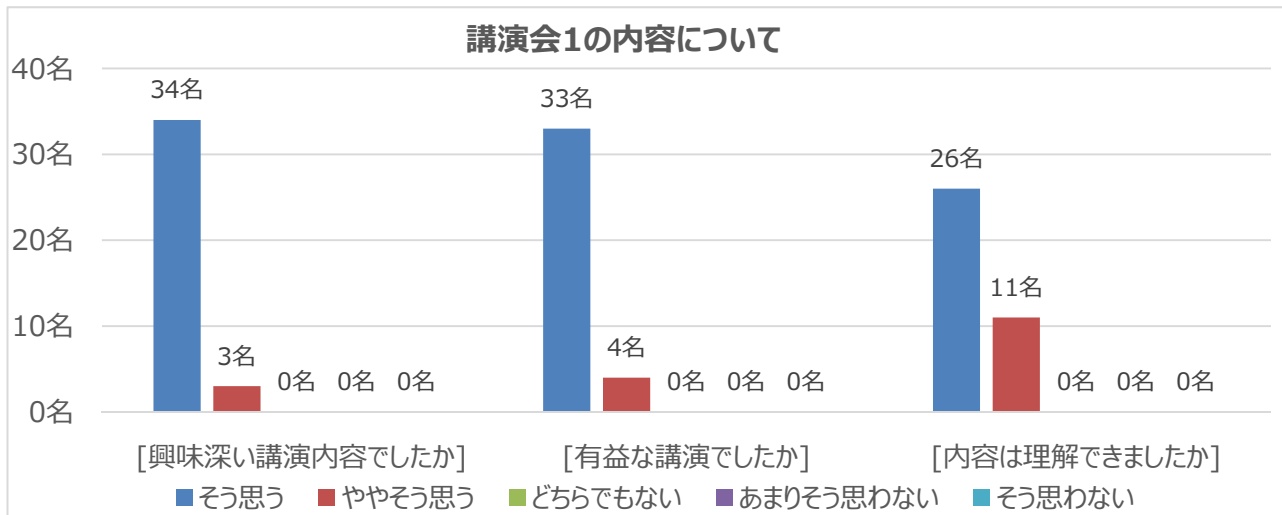
所在地	人数
22 静岡県	21名
14 神奈川県	3名
12 千葉県	2名
12 千葉県	2名
24 三重県	2名
47 沖縄県	2名
11 埼玉県	1名
13 東京都	1名
20 長野県	1名
21 岐阜県	1名
23 愛知県	1名
35 山口県	1名
40 福岡県	1名

講演会 参加者情報

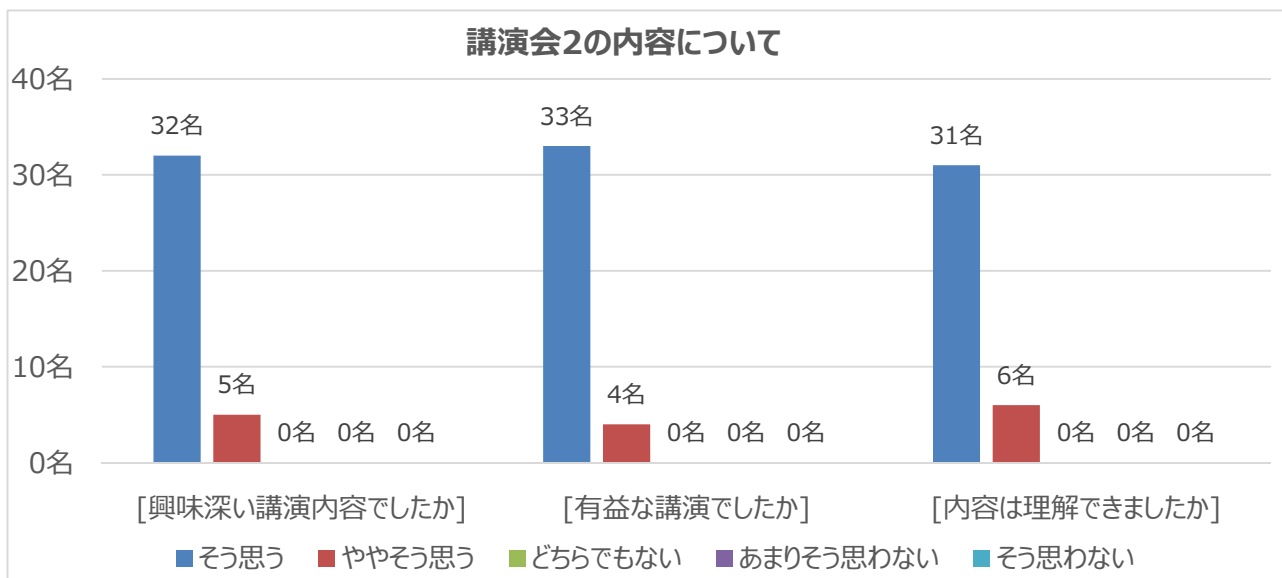


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

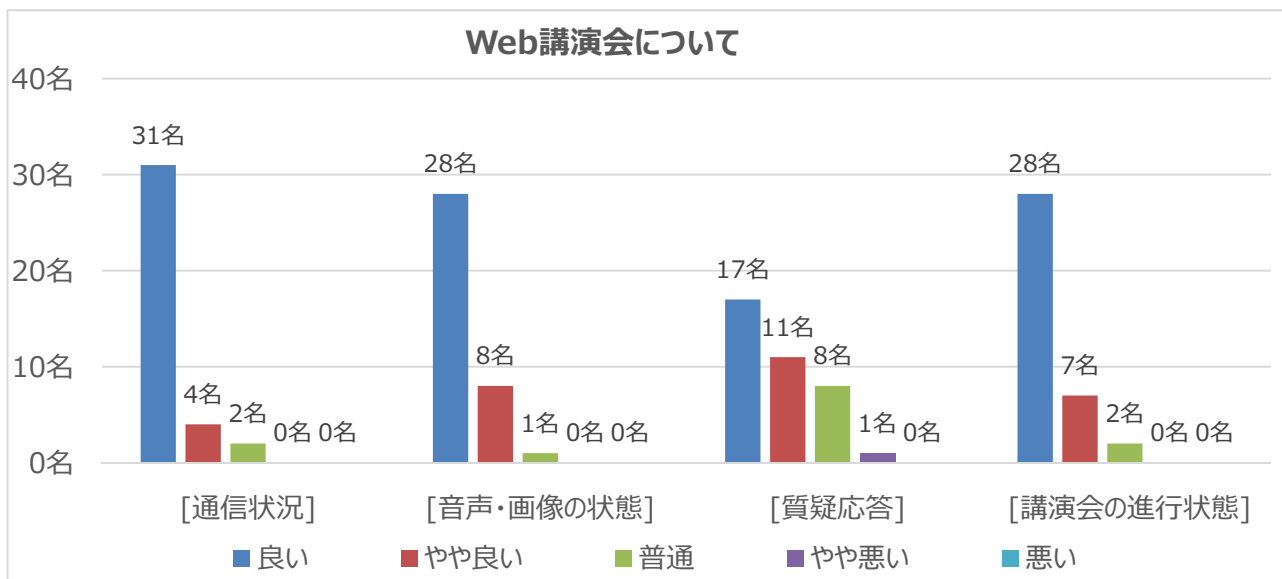
講演 1 「静岡県の地震・津波対策と三保松原の景観改善の取組み」



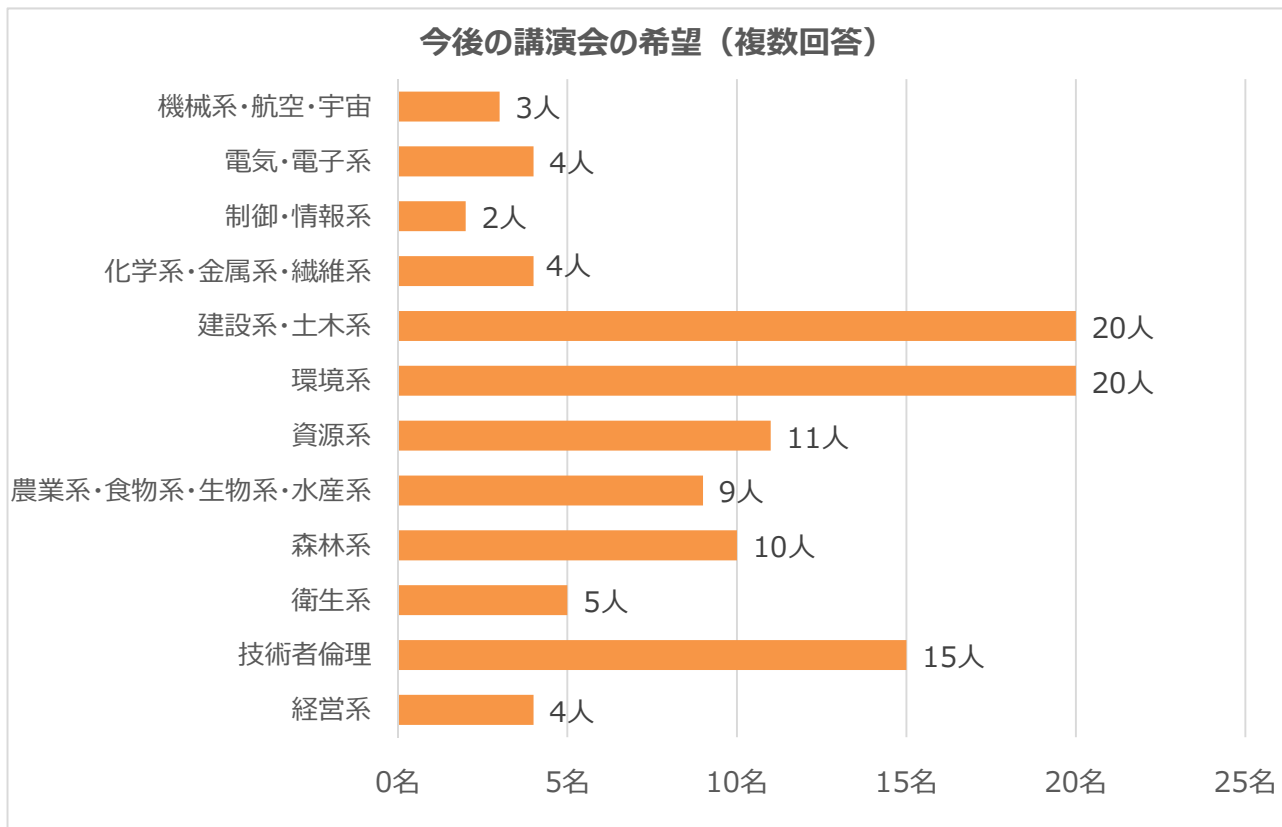
講演 2 「土石流災害の対応について」

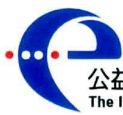


Web 講演会について



今後の講演会の希望





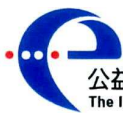
別紙①-1 講演 1 「静岡県の地震・津波対策と三保松原の景観改善の取組み」 コメント (21 件)

- とても有意義な講演でした。
- 静岡県の防災を改めて確認が出来た。改めて地方自治体の活動に感謝。防災は自分事として行動することが大切だと痛感した。
- 静岡県で進められている津波対策の現状を、学べて良かった。
- 現在設計業務で関わっている地域（南伊豆町の某水門）であり、津波対策の経緯、活動、実態を把握でき、有益な講演会であったと感じた。
- 貴重な発表ありがとうございました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 地元民としてとても興味深い内容でした。
- とともに、行政側からの発表で、普段あまり聞けないお話を伺え大変有益でした。
- 消波ブロックを撤去後は漁礁に転用できませんか。
- 焼津市に住んでいます。海岸の地すべりなど津波による浸水が心配です。レベル 2 での対策はできないのでしょうか。
- 特に、景観に配慮した養浜の実例を知る事ができ、ためになりました。
- 静岡県の土木については、リニアトンネル問題などで自然を守る、自然豊かな水資源を守るという県の姿勢は立派だと感じているのですが、では何故三保海岸の不細工なコンクリートポッドの山を築く前に、もっと市民や学者の意見を聞かなかったのか？普通の市民感覚ではテトラは海岸景観をそこねております。海外（イコモス）から指摘されてあわてて学会を組織してテトラを撤去するなんてなさないです。
- 自然災害、自然現象、防災の調和を多岐にわたり考慮されている
- 静岡県は昔から地震が来ると言われ続けてきたが、幸い今のところ大きな地震はないが、この間にいろいろな対策が取られていることがわかり安心しました。
- 県内でも地区協議会で議論し、ハード対策とソフト対策が多様であることに感心した。三保松原のように、観光や景観保全を重視する地区ではハード対策を軽減しソフト対策で補い、工場が立地している浜松市では、ハード対策を重視するのかなと思った。
- 海岸線の長い静岡県における既存の防潮堤と防災林を利用した減災への取り組みを知る事ができ勉強になった。
- 海に接している県では、高潮や津波に対する対策が必要不可欠であることを、改めて勉強できました。またその工法についても勉強できました。
- 構造物で景観を守る話に加えて、緑で守る話も少しくらいして欲しかった。
- 具体的で分かり易いご発表でした。県民を守る尊い事業に従事されておられることに敬意を表します。
- 防波堤の改良や砂浜の維持管理などの様々なアイテムの具体的な改善の取り組みについて詳しく知ることができました。



別紙①-2 講演 2 「土石流災害の対応について」 コメント (22 件)

- 災害は組織として行動することが大切。台風 15 号の静岡市の行動と比べると熱海の土石流災害の対応に大きな違いを感じた。組織のトップレベルの行動は様々な面で影響が大きい。
- とても有意義な講演でした。
- 調査・対応の流れが具体的に理解でき、勉強になりました。
- 事故後の安全を考慮した迅速な対策構築の重要性を認識した。
- 静岡県の災害特性よくわかりました。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 土石流災害についての県の皆様のご対応、ご苦労されたことがリアルに伝わりました。
- 行政側のお話でしたが、非常に反省を交えて、正直なお話が聞けた気がします。
- 災害対応における対応スピードの重要性を教えてくださいました。今日は貴重なお話ありがとうございました。お疲れさまでした。
- 県と市の関係ですね。盛土計画を承認し高も問題、承認後も経過監視の不出来が結果として災害を誘発したと思います。
- 熱海市伊豆山の土石流について詳しい話が聞け、満足しました。
- 搜索活動や復旧など、主要メディアが伝えきれない部分の紹介があり、興味深かったです。
- 災害復旧に多くの方が働かれたということが良く分かりました。ご苦労さまでした。
- 良かったと思います
- 貴重な体験をされ、ご苦労様でした。今後もこの体験を語り継いで後世に残していただければ幸いです。
- 技術士である難波元副知事の行動力、災害に対する姿勢を見習いたいと思った。また、環境基準値以上のフッ素が含まれていた災害発生土の処理について管理型処分場への処分以外に経済性管理の観点から海域埋立活用に手法も考えたことや、点群サポートチームや監視体制による搜索活動の安全確保など、組織的な対応の仕方が大変勉強になった。
- 県外にはあまり伝わってこない災害時の対応について詳しく知る事ができた。残念ながら今年も台風による豪雨による被害が発生したが、発災時に的確な対応をとるにはどうすべきか自分事として考えてきたい。
- 新聞、テレビ等での断片的な情報は認識していましたが、実際に携わった方による、現実の時系列な流れを勉強できました。
- 新規の砂防ダムの検討と逢初川の断面検討など、今後の土木構造物についての話をもう少し長く聞きたかった。
- 逢初川土石流災害についてマスコミでは報道されない事項を知ることができよかったです。時々刻々と進められた初動対応、点群サポートチームの支援、道路啓開や堆積土砂処分方法など大変参考になりました。
- 門外漢でありましたが、具体的でたいへんわかりやすい内容でした。強力なリーダーシップのもと、組織力が活かされた事例であったことがわかりました。
- 熱海の大規模災害の発生時から現在までの対応プロセスを具体的に又詳細に知ることが出来ました。



別紙② その他・全体コメント（12件）

- Web開催の継続を、お願い致します。
- 土曜日の講演会開催は、ありがたかったです。
- WEBの継続をおねがいいたします。
- できれば講演内容の配布資料がほしい。後で読み返して勉強したいので。
- 土曜日の午後（今回と同じような時間）または午前（10時～12時）が参加しやすいです。
- とくに電気・機械は無論、土木技術の分野についてもマレーシア、ベトナム、タイなど東南アジア諸国の技術力も日本企業のすぐ後ろに迫っている。近未来（ここ10～20年くらい）における東南アジア諸国との技術力競争をどう戦っていくのか？のようなテーマの切り口で、土木部門についても新技術を紹介して欲しい。
- 現行でよいと思います
- 伊豆の土石流災害の対応について、気になっていましたところ、静岡県で最前線で取り組まれていた方の話を聞くことができ、学ぶべきことがたくさんあって、参考になりました。ありがとうございます。
- 集合、対面型の講演会に出席が困難なため、土、日曜日に開催されるWEB講演会を希望します。本日はありがとうございました。
- 日程的にも講演の長さも適正だと思います。山口県から静岡県に容易に訪問できる、このようなウェビナーを今後もドンドンお願いします。
- たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- 今回は講演会の開催、実施ありがとうございました。
- また機会がありましたら参加させていただきたいと思いますので、よろしくおねがいいたします。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上